

## 目次

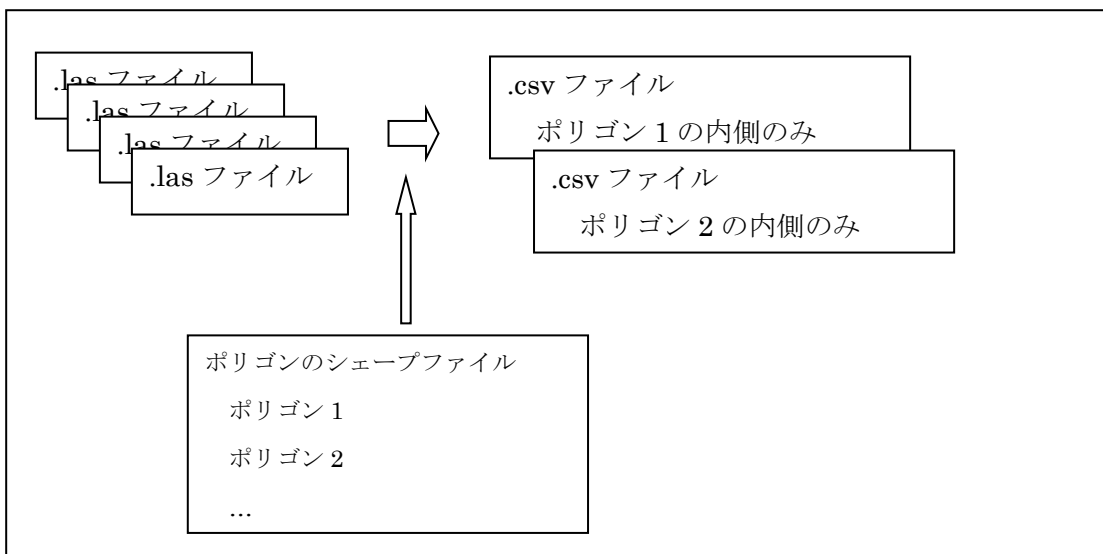
1. 機能 .....	1
2. ダイアログ .....	1
3. 保存する CSV ファイルの内容 .....	3
4. 改良案 .....	4
5. 更新記録 .....	4

## 1. 機能

LASer(LAS)ファイルを CSV 形式のファイルに変換します。

シェープファイルでポリゴンを指定して、ポリゴンの内側のみのポイントを変換します。

また、複数の LAS ファイルから、同じポリゴン内のポイントを、ひとつの CSV にまとめます。



las ファイルについて

<http://www.asprs.org/committee-general/laser-las-file-format-exchange-activities.html>

## 2. ダイアログ

#### ファイル指定あるいはフォルダ指定

ファイル指定の場合、las ファイルを指定します。フォルダ指定の場合、指定したフォルダの las ファイルをリードします。

#### LAS ファイル(.las)入力

.las ファイルあるいはフォルダを指定します。拡張子「.las」のファイルを参照します。

#### 緯度経度から平面直角座標系に変換する

.las の座標が緯度経度で記録されている場合、ON にします。

#### 範囲指定のポリゴンのシェープファイル

ポリゴンのシェープファイルを指定します。

#### 範囲指定のポリゴンシェープのフィールド名

ポリゴンのシェープファイルのフィールド名を指定します。シェープファイルの各レコードのについて、指定されたフィールド名の内容を参照して、保存する CSV ファイル名とします。

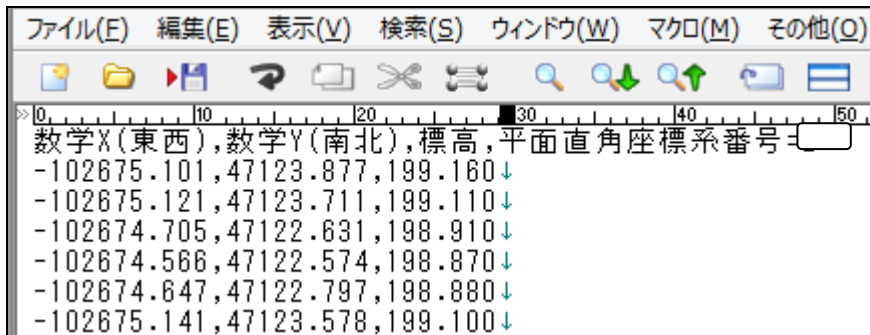
例 フィールドの「ID」の値が「1」⇒保存する CSV ファイル名は「1.csv」

例 フィールドの「ID」の値が「2」⇒保存する CSV ファイル名は「2.csv」

#### CSV ファイル(.csv)出力(数学 X,数学 Y、標高)

csv.ファイルを作成するフォルダを指定します。

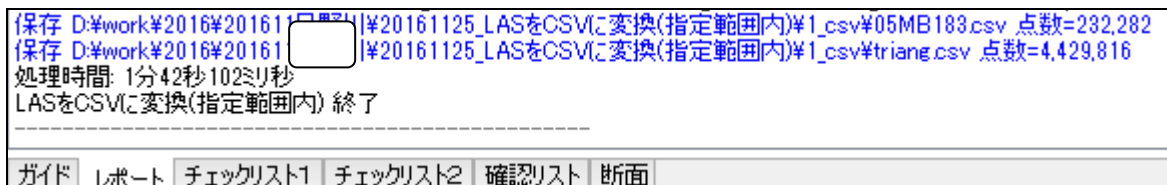
### 3. 保存する CSV ファイルの内容



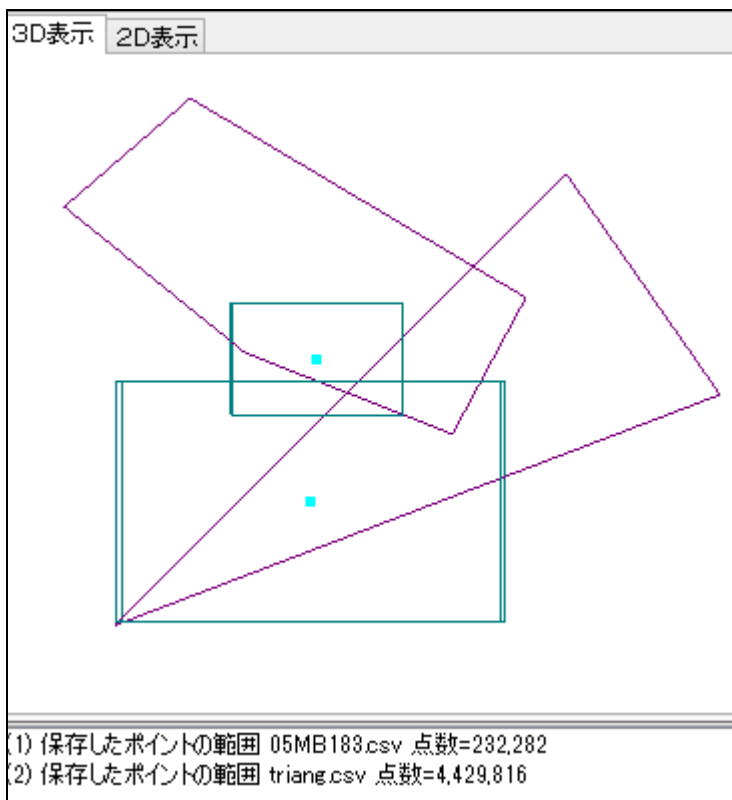
1行目はヘッダで、座標の内容を明示します。緯度経度から平面直角座標系に変換した場合、1行4列目に座標系番号を記録します。

2行目から座標データです。座標はメートル単位で、小数点以下3桁まで記録します。

列	型	内容
1	実数	数学座標の X、測量座標の Y、東西の座標
2	実数	数学座標の Y、測量座標の X、南北の座標
3	実数	標高値



変換後、レポートパネルに保存した点数などを表示します。



参照したシェープのポリゴンをチェックリストへ（マゼンタ色）、保存したポイントの範囲の矩形（シアン色）を表示します。

## 4. 改良案

今後の改良案です。ご意見、ご要望をお願いします。

- 保存する CSV ファイルにヘッダ行の有無をダイアログで指定できるようにする。
- 保存する CSV ファイルの形式を増やす
- CSV 以外のフォーマットでも保存する

## 5. 更新記録

2016/11/29

- ✓このメニューを作成